

学会記事

◎ **第4回理事会** (昭.32.9.12) 出席者：内海会長，東，飯吉，国分，丸安，米屋の各理事。議事：1) 8月中の行事その他報告，2) 三島理事が北海道通産局に栄転のため後任に通産省公益事業局水力課勤務野田和郎君を常議員会に推せんすること，3) 秋のエキスカレーションは10月24～26日只見川水系田子倉ダムを見学すること，4) 新婦朝者の講演会開催について，5) 土木振興対策委員会委員長に平山復二郎君を委嘱すること，6) 抄録委員西沢紀昭君渡仏のため後任に矢島基臣君を，耐震工学委員会委員に比田 正君を委嘱のこと，7) コンクリート示方書解説委員会を設置し，次の諸氏に委員を委嘱する。

(委員長) 吉田徳次郎，(委員) 国分正胤，川口輝夫，谷藤正三，畑野 正，丸安隆和，山田順治，三浦一郎，樋口芳朗，深谷俊明，伊東茂富，関 慎吾

8) 部外委託研究に対する割掛けを差当り最低10%とする，9) 会員の入退会承認。

◎ 各種委員会

1. **第4回会誌編集委員会** (昭.32.9.20) 出席者：糸川委員長，小林，伊東，南(代)，梅木(代)，武部，尾形，栗津，森，栗栖，岡崎，三上，東北支部 後藤(代河上)の各委員，深谷幹事。協議事項：1) 投稿原稿審査報告，2) 原稿依頼状況，3) 42巻10号登載論文を次のとおり予定，4) その他。

山田正男：都市形態と都市構成の理論とその応用，石川六郎：重コンクリートについて——日本原子力研究所第1号原子炉に対する重コンクリートの施工——，岩間 滋：西ドイツの道路事情，平山復二郎：プレストレスト コンクリート国際会議に出席して，編集部：斜め単純版の設計について，中岡二郎：建設機械の償却。

2. **第4回会誌編集小委員会** (昭.32.9.6) 出席者：糸川，丸安正副委員長，奥田，久保，栗津各委員，深谷幹事。協議事項：42巻10号会誌編集につき最終的に打合せを行った。72ページの予定。

3. **第4回会誌抄録委員会** (昭.32.9.2) 出席者：八十島委員長，伊能，岩間，高秀，西沢(代)，松本，堀井，丸山，湯浅(代)，佐藤，山田(代)，高橋幹事，山口前幹事。協議事項：1) 10月号登載抄録4編を決定，2) 新規抄録の提案，3) 新委員(伊能，佐藤)の紹介，4) 西沢委員渡仏のため後任に矢島基臣氏を決定，5) その他。

4. **第2回論文集編集各分会** (昭.32.9.13) 出席者：(第1分会) 山田部会長，大地，高田，樋口，後藤，安浪，山口。(第2分会) 岡田，松田，栗津，内藤，嶋。(第3分会) 谷藤部会長，西亀，三木，市原。(第4分会) 友永部会長，黒河内，村山，渡部の各委員，徳平幹事。協議事項：1) 各分会の論文審査報告および新規受付論文の審査，2) その他。

5. **第2回論文集編集部会長会** (昭.32.9.20) 出席者：友永委員長，山田，佐藤，谷藤各部会長，山口，嶋，市原，春日屋各分会幹事，徳平幹事。協議事項：1) 各分会の報告。2) 編集方針について，3) 論文集第50号(12月末発行予定)登載論文を次のとおり9編を予定した。

鈴木俊男：2主桁並列型式の鋼床版桁橋の設計について，松梨順三郎：限界掃流力付近の流砂に関する研究，島田静雄：バネ支承で支持された連続桁の性質について，荒木正夫：噴水式水叩の水利について，岩垣・土屋：雨水流による土砂の剝離と輸送について，八十島義之助：謎目衝撃に関する研究，春日屋伸昌：縦平均流速算定式の精度について，谷本喜一：締固めによる土中の密度変化について，小林・佐々木：軌道狂いの合理的評価とその保守限度の設定について。

6. **第1回コンクリート示方書解説委員会** (昭.32.9.5) 出席者：吉田委員長，国分，川口，丸安，山田，畑野(代永倉)，関，深谷，樋口の各委員。議事：1) 無筋解説7条まで審議。**第2回同委員会** (昭.32.9.16) 出席者：吉田委員長，国分，川口，谷藤，畑野(代永倉)，樋口，深谷，伊東，関，山田，三浦の各委員。議事：1) 無筋解説24条まで審議。

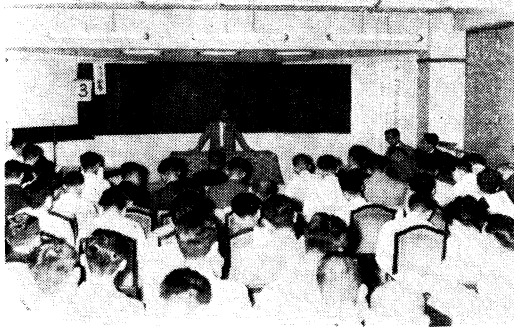
7. **第15回耐震工学委員会** (昭.32.9.10) 出席者：沼田委員長，岡本，畠山，近藤，友永，比田，小西，松尾(代大原)，田原の各委員，久保幹事。議事：1) 万国地震工学会議の準備状況報告，2) 今回の研究発表会について岡本委員から説明，3) 強震測定計画の推進について協議，4) 資源調査会保全防災部会地震小委員会できりあげる地震防災課題について，5) 耐震工学研究の推進方法について具体的方法を田原委員から提案すること。

8. **第7回土木設計管理小委員会** (昭.32.9.18) 出席者：平山振興対策委員長，比企委員長，河野，畠山(代松原)，豊田，仁杉(代堀内)，増山，八十島，吉田(越)，近藤，大西，吉田(代山口)，秋山(代近藤)，田中の各委員，磯部幹事。議事：1) 前回議事録について，2) 技術士審議会の運用要項について，3) 土木設計管理業務基準案第1条～7条審議。

9. **第1回波力小委員会** (昭.32.9.26) 出席者：本間委員長，新妻，田中，林，岸，堀川，白石，石綿の各委員。議事：1) 各委員の研究実情を述べ，現場と実験室との協同研究の重要性が強調された，2) 当面の段階として①波力に関する文献の収集整理，②計器のスタンダード化，③現場および実験室の波力，観測の資料収集整理，3) 委員に鶴田千里，榎木 享の両君を追加のこと。

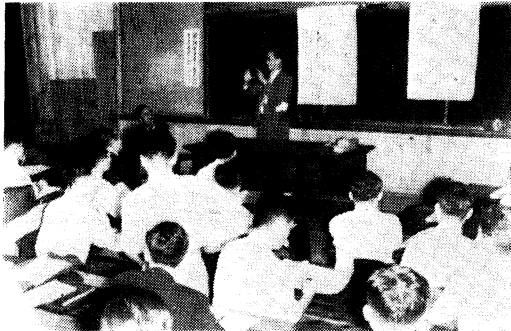
◎ 講演会および研究発表会

1. **第4回橋梁構造工学研究発表会** “構造物の破損・欠陥とその対策に関する研究発表会” (昭.32.9.6，日本建築学会講堂) 出席者約150名。講演数12(学会誌第42巻第8号参照)でそれぞれ非常に有益な報告であつた。当日正午に研究連絡委員会を開催し，明年の題目は“構造物の軽量化について”とすることに決定した。



2. 第7回応用力学連合講演会（昭.32.9.7~9, 東大工学部2号館）例年のとおり日本学術会議主催7学協会連合で開催したが、参会者延べ約440名、講演数136題で非常に盛会であった。なお講演会後の行事として見学会（参加者57名）、懇親会（56名）を行った。

第7回応力連合講演会会場（東大工学部2号館）



3. 第1回地震工学研究発表会（昭.32.9.10~12, 土木学会会議室において）耐震工学委員会の最初の企画としてその成果のいかんについて懸念があつたが、講演数24（学会誌42巻7号参照）、聴講者：第1日109名、第2日59名で部門ごとに討議を行い非常に盛会であった。

見学会は3班に分れ、11日午後講演終了後第1班（参加者13名）は東大地震研究所（観測諸施設）へ、第2班（参加者9名）は三鷹の運輸技研（人工地震発生装置、片壁の地震時土圧測定、低温実験室、溶接部、最新式多

第1回地震工学講演会における沼田委員長挨拶



荷重試験機）を見学し、第3班は12日（参加者15名）横須賀線久里浜駅に集合、バスで運久里浜試験所諸施設を見学した。

なお見学に参加しない人のために11日午後2時から映画会を開催し、①原子力とは？②原子科学の進歩、③地震と建築、④建設の資源一雨、⑤組合と養成工、⑥アメリカのみちの6種類を映写、好評を博した。

◎その他

1. Prof. A. T. Ippen (M.I.T. 水理学教授) から明年1月中旬日本を訪れたいが、スケジュール決定次第改めて連絡するとの報に接した。

◎日本学術会議および関係学協会の動き

1. JSC 材料試験連合講演会 第3回運営・実行および職員打合せ（昭.32.9.25, 土木学会会議室において）を行い1) 経過報告, 2) 英文論文集の刊行, 3) 特別講演, 4) 講演会実施の事務的打合せ等を行った。

2. 第4回“風に関するシンポジウム”打合せ（昭.32.9.19）を農業技研会議室で開催し、プログラムの編成等を行った（別掲参照）。

3. JSC 原子力特別委員会 では第2回原子力シンポジウムを明年2月7~9日に開催するについて共催承諾の上、別記（お知らせ欄）のとおりに講演募集方申出があつた。

4. 日本建築家協会 では建築展（燃えないすまい）を9月10~15日三越本店7階において開催した。

5. 日本工学会 では9月20日理事会を開催し、1) 会計報告, 2) 工業クラブの室の処置, 3) Gail A. Hathaway 提案の太平洋および極東地域の工学連合を結成する勧誘等について協議された。

6. 先般設立された特殊法人日本科学技術情報センターの開所式を千代田区一番町15の5（旧日本化薬ビル）の同所において9月16日開催された。

支 部 だ よ り

1. 北海道支部 役員（幹事）を次のとおり委嘱した。

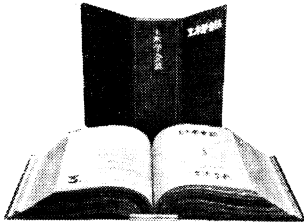
五十嵐日出夫君, 江利川審一君, 河野文弘君, 黒羽 仁君, 倉橋力雄君, 富田一成君, 戸村優夫君, 本間 恒君, 山本清助君。

2. 中国四国支部 評議員会(昭.32.8.26)出席者: 庄司支部長, 秋草, 西村, 加賀美, 星, 横田, 江藤, 岡野, 近藤の各評議員, 山本幹事長, 森垣, 永田, 網干, 津野田の各幹事, 市次主事。議事: 1) 支部規約内規改

正について, 2) 事業計画および予算案, 3) 第9回支部講演会を11月上旬松江市において開催することとし幹事会に一任, 4) 評議員に森 四郎君を委嘱し, 主事に市次秋男君を任命について。

3. 西部支部 地区常議員山口和雄君転出につき後任に江里口正夫君を委嘱した。

土木学会誌“合本用ファイル”の頒布について



御要望に答えて学会誌合本用の専用ファイルを作りました。ピンで簡単に製本ができ, 必要なときにはその号だけ抜き出せる特長があり, 購入された方々より非常に便利だとの好評を得ております。目下のところ学会誌だけですが, さらに御希望が多ければ論文集用ファイルも考えております。見本用に作った残部が多少ありますから希望者は至急御申込み下さい。

なお製品はテッサー工業KKと特約したものであります。

記

体 裁: B5判 学会誌 12冊綴用, 薄グリーン・クロス装, 金文字入り

頒 価: 1部 170円(送共)

申込方法: 御送金次第, 残部がある限り折返し送付します。品切となりましたら, 予約が一定部数に達するまで, しばらくお待ち下さい。

会 員 現 在 数 (昭.32.9.30.現在)

名誉員	賛助員	特1級A	B	C	特2級	特3級	正員	准員	学生員	合計	増加
22	30	12	11	64	106	94	7096	5046	1208	13689	61

昭和 32 年 9 月分入退会報告 (昭.32.9.1~9.30)

1. 入 会 100名 (正 38, 准 41, 学生 16, 特1A2, 特1C2, 特3 1)
2. 退 会 39名 (正 17, 准 20, 学生 2)
3. 転 格 22名 (正より准へ 11, 学生より准へ 2, 特1Cより特1Bへ 4, 特3より特2へ 4, 特3より特1Cへ 1)

正員	知久清之助君	港区芝白金志田町 82	昭和 26 年 8 月 15 日逝去	享年 65 才
正員	藤村 蓋君	北区神谷町 1 の 11 浅野方	昭和 31 年 12 月 25 日逝去	享年 66 才
正員	吉田 安治君	KK熊谷組横浜出張所勤務	昭和 32 年 7 月 4 日逝去	享年 44 才

昭和 32 年 10 月 10 日印刷
印刷者 大沼正吉
編集兼発行者 中川一美
定 価 100 円

昭和 32 年 10 月 15 日発行
印刷所 株式会社 技報堂
発行所 社団法人 土木学会
振替 東京 16828 番

土木学会誌 第 42 卷 第 10 号
東京都港区赤坂溜池 5 番地
東京都新宿区四谷一丁目(外濠公園入口)
電話 (35) 5130・5138・5139 番